

(特非) ASIA Environmental Alliance

岩手大学の学生によるインドネシア・バリ島国立ガネーシャ教育大学における節電・省エネ啓発のコーディネート活動

一緒に活動に取り組む学生	15名増
省エネ活動を行った学生の割合	40%
活動の全体目標に対する達成度	88%



ガネーシャ教育大学での打ち合わせ

◆成果と工夫したポイント

●成果

ガネーシャ教育大学で学生団体「nigokasei」を結成。計15名が岩手大学の学生と一緒に2回の環境活動に取り組んだ。同大学シガラジャキャンパスで節電・省エネ・廃棄物分別・削減活動が続ける基盤ができた。

●工夫

ガネーシャ教育大学の学生・教員との打ち合わせを踏まえた、岩手大学の学生による自発的な活動を尊重したこと。

課 題

インドネシア・バリ島における節電・省エネ活動による電力消費量の削減の観点から、停電の多発に対処しようとする第一歩を見出すこと。

目 標

バリ島にあるインドネシア国立ガネーシャ教育大学シガラジャキャンパスの学生が、節電・省エネ意識を高め、節電・省エネ方法を理解し、自主的かつ継続的な節電・省エネ活動を行えるようになること。

活動内容

2015年9月と2016年2、3月に、岩手大学の学生がガネーシャ教育大学シガラジャキャンパスでの節電・省エネに加え、廃棄物分別啓発活動を実施。具体的には、教室の節電・省エネ調査とペットボトル廃棄物分別率調査、ポスター・ステッカーの作成と貼付、セミナーで日本の省エネ・廃棄物分別活動、スウェーデンの環境教育などの紹介、ワークショップで参加者によるバリ島の環境問題の解決策の検討と発表などを行った。



バリ島の環境改善に関する発表の様子

達成できなかったこと

ガネーシャ教育大学シガラジャキャンパスにおける2015年の電力消費量を前年(2014年)比で3%削減。同キャンパスの電力消費量データの入手が難しかったため。

今後の展望

ガネーシャ教育大学シガラジャキャンパスでの環境活動の継続に加え、地域内の小学校などでの環境教育を検討。